事務局分科会

また来たい！と思える場づくり

～新しく来た人を、どう迎えていますか？～



50分
講義よりも、考えて
持ち帰る時間にします

Gemini Notebook

1

導入

今日のテーマと流れ

今、何をする時間なのかが分かるように進めます。

テーマ:
新しく来た人が
「また来たい」と思える会議って？





ゴール:
次の会議で試したい
“小さな一歩”を１つ持ち帰る

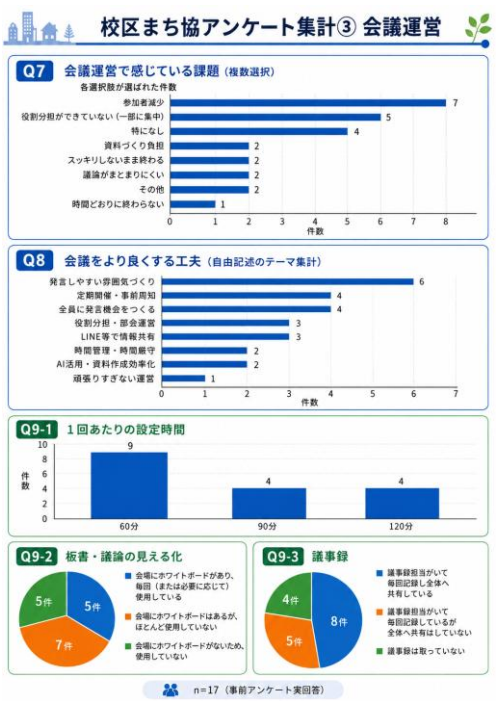
主旨説明・アンケート結果	5分
ミニレクチャー	10分
ワーク	30分
まとめ・共有	5分

今日は「正解」を聞く時間ではなく、各まち協のアイディアや経験を出し合う時間です。
今日の流れを確認してから、まずミニレクチャーに入ります。

Gemini Notebook

2





3

ミニレクチャー①

新参者と古参者

前からいる人の「当たり前」は、初めて来た人には見えていないかもしれません。



いつもの人には：当たり前

- いつもの流れ
- いつもの言葉
- いつもの関係性

見えないギャップ

初めて来た人には：分からない

- 誰が誰？
- この言葉の意味は？
- いつ話していい？



新しい人だけが「慣れる」のではなく、すでにいる側も“迎え入れる”工夫をする。

事務局の役割：言葉を補う／人をつなぐ・紹介する／発言しやすくする

新しい人が入り続けられる場にすることも、まち協の大切な場づくりです。

Gemini Notebook

4

ミニレクチャー②



場づくりは、準備から始まる

会議が始まる前に、参加しやすさはかなり変えられます。
初めて来た人にとっても安心して参加できるような場づくりができているか？



1 目的・ゴール
- 今日は何を話すのか
- どこまで決めるのか

2 場・配置
- 誰がどこに座るか
- 自然に混ざれるか

3 資料・道具
- 話についていけるか
- 見える化できるか





会議前の小さな配慮が、「ここにいていい」という安心感につながる。
「何をするか」だけでなく、「初めての人にも伝わるか」を準備段階で確認します。

Gemini Notebook

5

ミニレクチャー③

会議中のちょっとした工夫

参加しやすい・話しやすい状態をつくる





1 最初に伝える：目的・流れ・時間の見通し

2 ルールを共有：安心して話せる約束を置く

3 小さく話す：いきなり全体でなく2〜5人で話す

4 見える化する：板書で今の話を共有

5 時間を区切る：残り時間を伝え切り替える

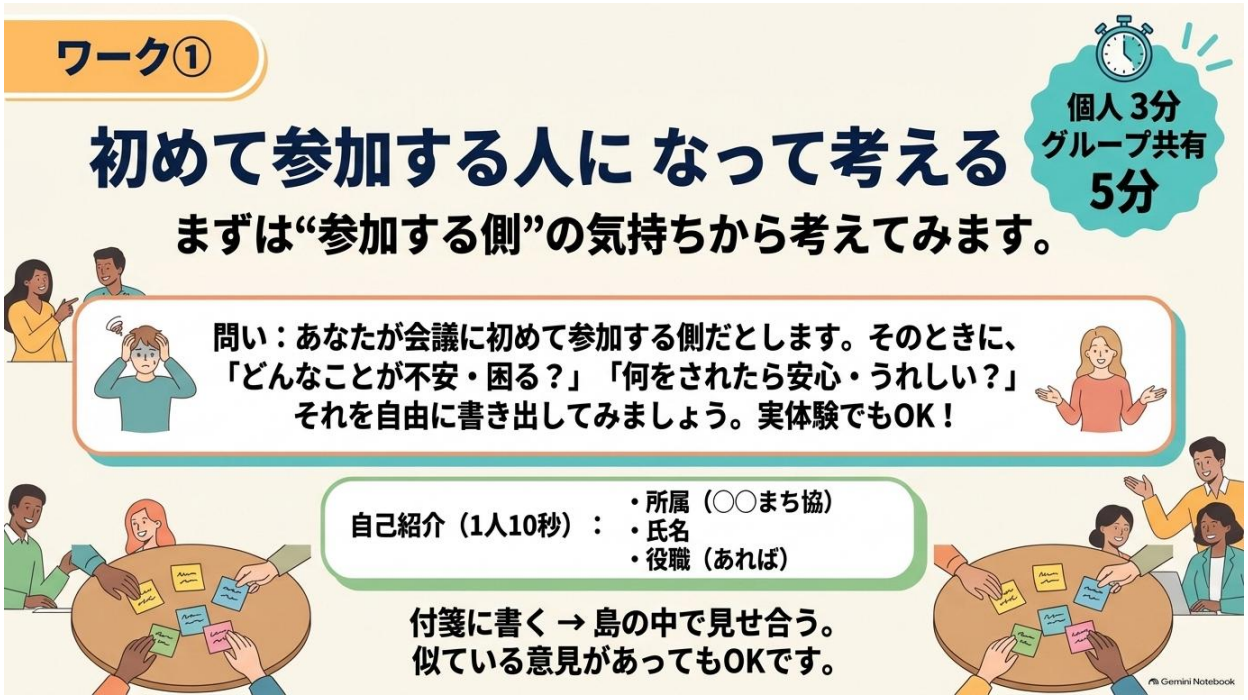




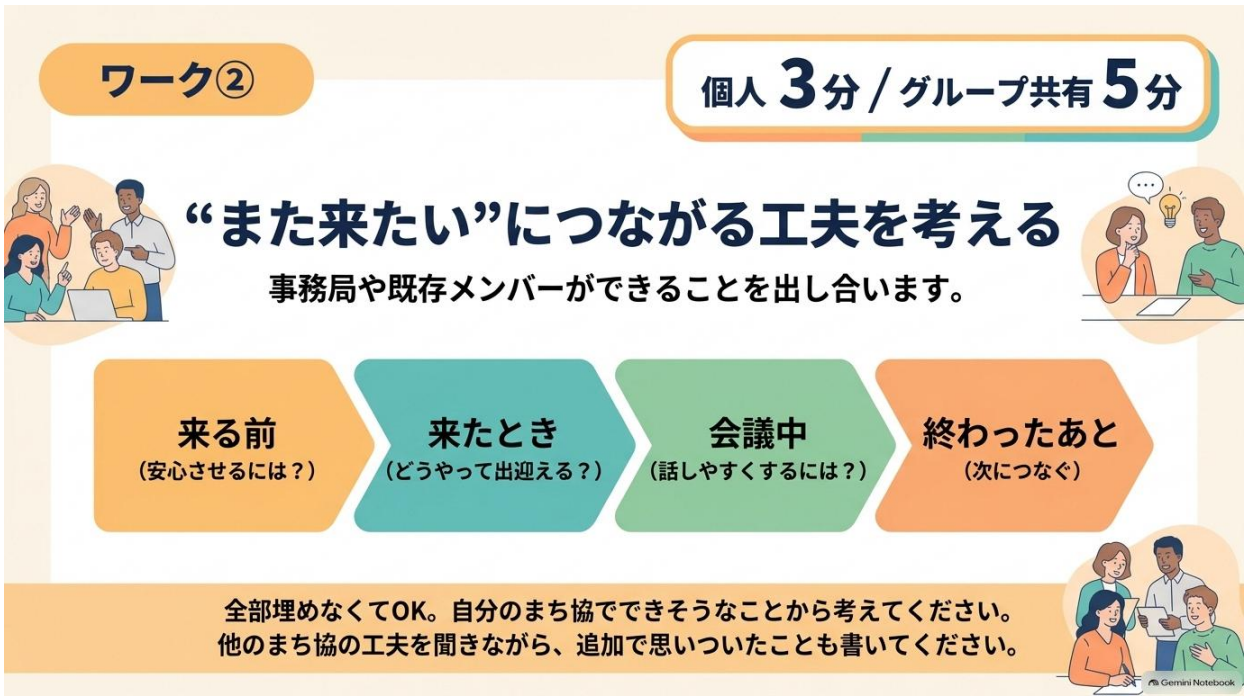
「何か意見ありますか？」だけではなく、話しやすい形をつくる。
全体で聞く前に、まず隣同士・小グループで話すだけでも変わる。
会議中の工夫は大きな技術ではなく、「話してもいい」と思える状態づくりです。

Gemini Notebook

6


ワーク①
個人 3分
グループ共有
5分
初めて参加する人に なって考える
まずは“参加する側”の気持ちから考えてみます。
問い：あなたが会議に初めて参加する側だとします。そのときに、
「どんなことが不安・困る？」「何をされたら安心・うれしい？」
それを自由に書き出してみましょう。実体験でもOK！
自己紹介（1人10秒）：
・所属（○○まち協）
・氏名
・役職（あれば）
付箋に書く → 島の中で見せ合う。
似ている意見があってもOKです。
Gemini Notebook

7


ワーク②
個人 3分 / グループ共有 5分
“また来たい”につながる工夫を考える
事務局や既存メンバーができることを出し合います。
来る前
（安心させるには？）
来たとき
（どうやって出迎える？）
会議中
（話しやすくするには？）
終わったあと
（次につなぐ）
全部埋めなくてOK。自分のまち協でできそうなことから考えてください。
他のまち協の工夫を聞きながら、追加で思いついたことも書いてください。
Gemini Notebook

8

ワーク③

共有まで7分で

次の会議でやってみたいことを1つ選ぶ

ワーク②で出た中から、“これならできそう”を選びます。





1 選ぶ: ②の中から1つ選ぶ → **2 印をつける:** 赤丸シールをつける → **3 共有する:** なぜ選んだかを話す





大きな取組でなくてOK。次の会議で本当にできそうな“小さな一歩”を選びます。



Gemini Notebook

9

全体共有

1グループ 1分目安

各グループから１つ紹介

他のまち協にも紹介したい工夫を共有します。

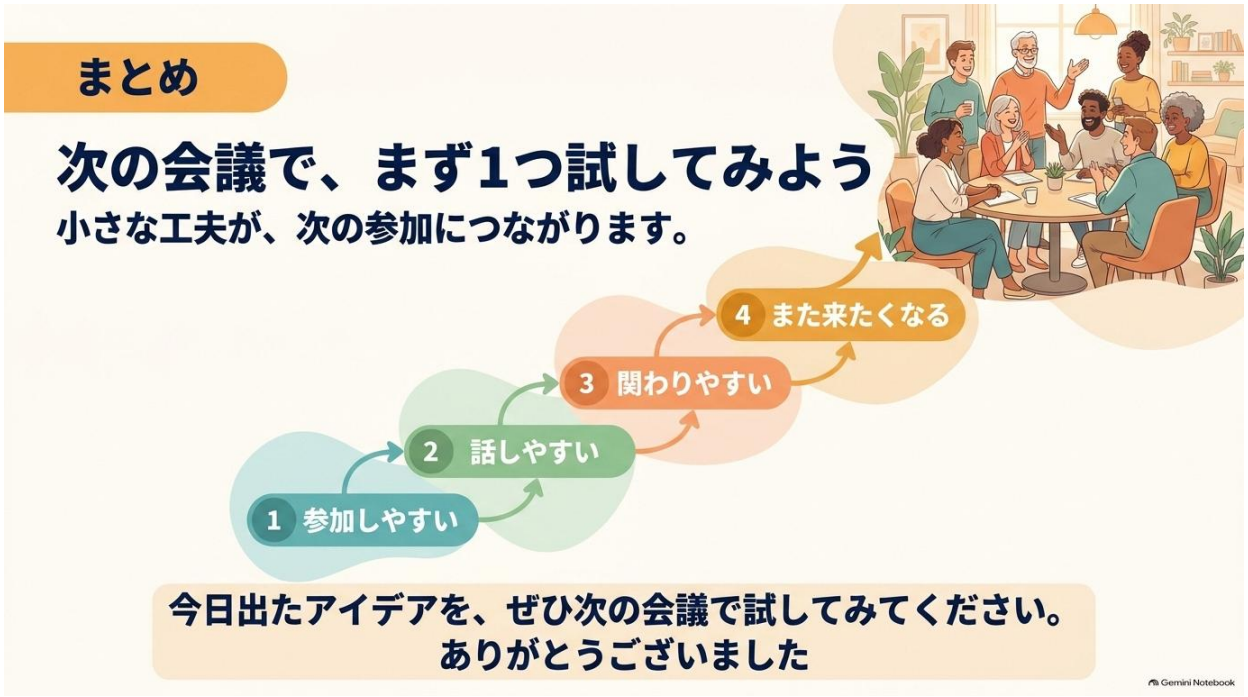
紹介すること:
「次の会議でやってみたいこと」
または
「印象に残った工夫」



完璧な答えではなく、試してみたい一歩を共有する時間です。
似ている意見も歓迎です。短く、試しやすい形で共有しましょう。

Gemini Notebook

10


まとめ
次の会議で、まず1つ試してみよう
小さな工夫が、次の参加につながります。
1 参加しやすい
2 話しやすい
3 関わりやすい
4 また来たくなる
今日出たアイデアを、ぜひ次の会議で試してみてください。
ありがとうございました
Gemini Notebook

11